

三月の歌

森本雅也 作詞
太田雅也 作曲

♩=132

♩

mf

mf mp

さんがつははうなた さんがつははう

mf mp

なたねむりからさいめたちきぎたちが いっせいに
たこのよのーい のち があるものは さまどりに

mf f v mf

よろこびのこえをあげ るおだ やか なひが
うごきゆく やまをなが め る コバ ヤル ト に かが

×2 ♩=104

しのかぜに こずえをふるわせ
やくうみに おもいはせなが

mp

mp

さんが つは あ め さんが つは あ

め ふると はみ え ぬ ひとあめに

mf

とう みんなからさめ た かえるが うたいだす

f *mf*

ひとひとはれんげのふとんをうらがえし

f *mf* *f* *rit.* *DS.*

いなしろにみずをそそぐ

J=132

mf

らかがやくひかりのなかにあふれるう

たさんがつのおた

三月の歌

三月は花

眠りから覚めた木々たちが
いつせいに喜びの声をあげる
おだやかな東の風に
梢をふるわせて

三月は雨

降るとは見えぬひと雨に
冬眠から覚めた蛙が歌いだす
人々はれんげのふとんを裏返し
稲代に水を注ぐ

三月は歌

この世の命あるものは
さみどりに動きゆく山を眺める
コバルトに輝く海に
想いを馳せながら
輝く光の中にあふれる歌

三月の歌